

自ら社会的視野を広めていく新聞活用のあり方を求めて

実践校第1年次 塩尻市立洗馬小学校 中野 和幸

1 本校のNIEの現状

本年度9月より、NIE 実践校第1年次として新聞を活用した授業はどうあったらよいかを模索し、子ども達の学校生活や日頃の学習の中でどのような活用ができるかを考える事から出発した。したがって、校内の研究部会で社会的な視野、国語的な視野、総合学習的な視野からNIEについての取り組みの実践を始めたところである。

児童の新聞に対する実態をアンケートで把握してみると、ほとんどの家庭で新聞を購読しているが、子ども達が目を通す記事は、テレビ欄や4コマ漫画がほとんどであり、次いでスポーツ欄の結果や広告が多く、ニュースや地域の話題などには余り興味がないことがわかった。新聞を読まない理由として、漢字が読めない、内容が難しい、興味のある記事がない（子ども向けの記事がない）、と答えた児童が多かった。

そこで、毎月配達される新聞を自由に読めるようにNIEコーナーを作り、自由に新聞を閲覧できるように工夫したり、新聞記事をスクラップしたりして新聞に興味を持つようにする事から実践を始めてきた。しかしながら学校生活の中では足を止めてまで新聞を積極的に読もうとする児童は少なく、児童自らが活用するまでには至っていない。

また、教科での活用では、教科書の内容を指導することで精一杯であり、改めて新聞記事を取り出して、そこから考えるという手間のかかる指導は時間的な制約もあるため積極的に活用できないのが教師の本音である。

しかし、学級でテーマを決め新聞記事のスクラップ作りをしてみると、みんなで協力し合って内容を理解しようと辞書を片手に記事を読む子、写真と見出しからおおよその内容の見当をつけて、自分なりの考えを持つ子など、新聞に向き合うと楽しそうな姿を見せる児童の姿が見られた。新聞記事をみんなに発表しようという場面を設けると、内容をできるだけ簡潔にわかりやすく自分の言葉に置き換えて話す工夫をする児童の姿もあった。

2 NIEで高めたい力

本校では、子ども達が将来的に「新聞」に対して親しみを持ち、自分なりの視野を広めるためのアイテム、情報収集の手段として新聞を活用してほしいと考えている。そのためには、小学生のできる範囲で社会的事象に関心をもち、視野を広めてほしいと考える。

高めたい力

- ・社会的事象について興味関心をもつ
- ・社会的事象に対して、自分なりの考え方をもち、それを伝えあう表現力
- ・友達や教師から得た情報を基に、自分なりに調べる力

3 研究の概要

- (1) 実践した教科 社会科 国語科 総合的な学習の時間
- (2) 新聞の提供状況 9月～12月まで4ヶ月間

(3) 新聞を取り入れた授業をする上で特に工夫したこと (4学年の実践より)

- ・ 8社の新聞を購読した。校内にNIEコーナーを設置して自由に閲覧できるようにした。
- ・ 特に教科での活用がない日は下校時に4年生で新聞を持ち帰り、家庭で保護者と一緒に家庭の新聞と読み比べるようにした。
- ・ 夏休みを機に家庭で新聞スクラップを始め、9月からは定期的に新聞スクラップを行った。
- ・ 月に1回程度、気に入った記事を友達に発表する機会を設けた。
- ・ 新聞記事に興味をもってもらうため、月ごとにテーマを決め、新聞記事の切り抜きを児童に募集し、集まったものを掲示板にコメントをつけて掲示した。

4 実践学級の単元学習の報告から

(1) 単元名 「交通事故からみんなを守れ」

(2) 新聞活用の視点から単元に行きつくまで(単元設定の理由)

4年1組では新聞のテレビ欄を見たり、4コママンガ、スポーツ記事、写真を眺めるといった関わりをしている子が数名いる程度で、興味・関心を持って新聞を読んでいる児童は少なかった。

そこで、まず新聞スクラップ作りを通して、新聞と関わりを持ち、新聞に親しみを持てるような機会を設けた。

その後、定期的にスクラップ作りを継続し、新聞を読み深める機会を増やしてきた。難しい漢字が多い記事には抵抗があるようであるが、社会事象に興味を持つ児童が少しずつ増えてきた。

学級活動では、スクラップした記事を友達に発表する機会を設けて、表現力の育成に活用してきた。子ども達の選ぶ新聞記事に着目すると、写真が載っている記事がほとんどで、視覚的に興味を持ち、そこから記事の内容に目を向けることが多いこともわかってきた。

そこで、教科学習においては学習問題を解決するための手段として、新聞記事を使う事を考えた。新聞記事から必要な情報を見つけ出すことで、新聞の活字を読む機会や書かれている文章について考える機会も増し、社会的視野も広がる事も期待できそうである。

本単元では交通安全という視点から警察官の仕事や安全な町づくりなどを学習する。新聞記事を資料として利用することで、学習を深める事ができ、私たちの身の回りにおこっている様々な社会的事象にも幅広く関心を持って学習ができるのではないかと考えた。

(3) 新聞を扱う上での創意工夫

- ① スクラップ帳の記事を発表したり、展示したりして新聞記事や社会事象への興味関心を持てるようにする。
- ② NIEコーナー(児童参加型の掲示板)を作り参加的に新聞記事に興味を持たせる。
- ③ 新聞記事の発表だけにとどめずに、自分なりの考えを大切にして学習を展開する。

(4) 単元展開

① 単元目標

事故や盗難が発生したときの、警察署や関係機関の働きと協力のしくみを、見学したり、資料から調べたりして、地域の安全は警察署を中心とした関係機関と地域の人々の協力的な活動によって保たれていることを考えることができる。

- <関心・意欲・態度> 事故や犯罪を防ぐ仕事に関心を持ち、自分たちでもできることを話し合い、実践しようとするができる。
- <思考・判断> 警察署や駐在所などの働きを、自分たちの安全な生活の維持と結びつけて考えることができるようにする。
- <資料活用・表現> 具体的な資料（新聞含む）を活用したり、作ったりして、問題解決に役立てることができるようにする。
- <知識・理解> 安全を守るための諸機関では、災害や事故に迅速に対処したり、防止への体制を取ったりしながら、人々の安全も守っていることや、その仕事に従事している人々の工夫や努力が分かるようにする。

② 単元展開

「学習問題」・学習活動（学習内容）	教師の指導・支援	時間
<p>「ここが危ない。私たちの通学路の危ない場所を調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路で危ないとおもう場所について調べ、自分たちにできる交通安全対策を考える。 <p>（私たちの安全に関わる場所について）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地区子ども会での危険な場所の話し合い、集団下校での様子を想起させ、通学路上の交通の危険について学習カードにまとめさせる。 自分たちにできる交通安全対策について話し合わせる。 	2
<p>「私たちの安全を守る施設を調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の周りにある安全を守るための施設について見学して、まとめる。 <p>（安全を守る施設について）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見学を通して、学校の周りの安全を守るための施設に気づけるようにする。 道路には私たちの安全を守る施設や、交通ルールがあることを理解させる。 	2
<p>「警察官はどんな仕事をしているだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちのくらしを守る警察官がどのような仕事をしているか、新聞記事から探し出し、自分たちなりの警察官の仕事に対しての予想を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を使い、警察官が私たちのくらしの安全に強く関わっていることをとらえさせる。 警察官の仕事についてさらに知りたいことなど興味を持たせる。 	本時 (1)
<ul style="list-style-type: none"> 駐在所見学で派出所のお巡りさんの話を聞いたり、質問したりする。 <p>（安全を守る人について）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駐在所見学でお巡りさんの話を聞き、警察官の仕事について理解を深めさせる。 	1
<p>「もしも交通事故が起きたら、どのように情報が伝わるのだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故が起こったときの連絡のしくみについて、派出所見学で聞いたこと、教科書の資料で調べる。 <p>（安全を守るしくみについて）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事故が起きたときの連絡のしくみについて調べさせる。 	1

<p>「まちの人たちは事故を防ぐためにどんな協力をしてくれているのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故を防ぐためにまちの人々がどのような活動をしているか、身近な人に聞き取り調査を行う。 <p>(安全に協力する人々について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査を行い、地域の人々が交通安全に関心を持って、様々な取り組みをしている事に気づかせる。 	1
<p>「だれもが安心して暮らせるまちづくりの提案をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれもが安心して暮らせるように、地域には安全についてどんな工夫があるか調べたり、自分たちで考えたことを発表したりする。 <p>(安全に協力しようとする自分たち)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬地区の安全対策施設に注目させ、安心して暮らせる社会を実現するために様々な工夫がされていることに気づかせる。 ・子ども達なりの安全対策施設の考えを提案させ、将来の安全について考えさせる。 	1

(5) 本時案

①主眼

警察官の仕事について新聞記事を根拠に分かった事を発表し合う場面で、警察官が逮捕や捜査以外にも仕事をするのはなぜか、新聞記事を頼りに自分の考えを出し合う活動を通して、警察官が私たちの生活のために、事件や事故を未然に防ぐ取り組みをしていることを感じることができる。

②本時の位置 9時間扱いの第5時

前時：学校の周りの安全施設を調査し、道路には私たちの安全を守る施設や、交通ルールがあることを理解した。警察官の仕事について予想した。

次時：駐在所でお巡りさんに警察官の仕事について詳しく話を聞く。警察官の仕事について理解を深める。

③指導上の留意点

- ・中心的に考えさせたい内容の記事を集めた子に偏りがあるので、コピーを配布して考え合う。

④展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	「」主発問◇指導○支援 評価	時間	備考
導入	1 学習内容を確認する	<p>学習問題 警察官はどんな仕事をしているのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事でわかった警察官の仕事を発表するんだな。 	<p>「警察官の仕事について新聞記事で調べてきたことを発表しましょう。」</p>		3分

展 開	2 調べてきた新聞記事を発表し合い、警察官の仕事を確かめる。	<p><調査・捜査> 事故調査や事件の捜査をしている事を調べたよ</p> <p><逮捕> ・いろいろな事件があった ・犯罪者を捕まえた</p> <p><訓練> ・消防との合同訓練をしていた ・銀行で強盗逮捕訓練をしていた ・事件や事故を未然に防いでいる</p> <p><事件・事故防止> ・交通安全の記事があった ・シートベルトの記事があった</p>	<p>○調べてきた新聞記事の概要、警察官の仕事を分類して板書する</p> <p>○どのような仕事をしているのかはっきりしない場合は、全員に問いかけ考えさせる</p> <p>○様々な仕事をしていることに気づかせる。</p> <p>○訓練、事件事故防止などについては、具体的な記事の内容をつかませる</p>	15分	スクラップ記事の内容に基づき指名計画 教材提示装置で記事拡大提示
	3 出された新聞記事から課題を把握して話し合う。	<p>学習課題 警察官が逮捕や捜査とは違う仕事をするのはなぜだろう。新聞記事を読んで考えよう。</p> <p>・新聞記事を見返しながら自分の考えを学習カードに記入する</p> <p>・事件・事故が起こってからでは遅いから</p> <p>・人の命が関わっているから</p> <p>・事件・事故を少なくするため</p> <p>・事件が起こりにくくするため</p>	<p>◇事故・事件防止に取り組む警察の仕事の記事に着目させる</p> <p>・どのような記事か記事の数値をグラフ化したものを見せ、整理して考えさせる</p> <p>・学習カードに記入した自分の考えを出し合い話し合う</p>	20分	学習カード 記事コピー配布
まとめ	4 今日の学習を振り返り、感想を書く。次時の予定を知り、駐在さんに聞きたい	<p>・今日の授業で感じたこと、駐在所見学で聞きたいことをまとめる。</p> <p>・警察官は私たちの生活を守るためにいろんな仕事をしているんだ。</p>	<p>「社会の中で活動している警察官について、今日の学習で感じたことを書いてみよう。」</p> <p>「今日の学習をもとに駐在さんに聞きたいことも書いてみよう。」</p>	7分	学習カード

<p>ことをまとめ る。</p>	<p>・警察官はどんなときでも 駆けつけていてすごいと思 った。 ・駐在さんにそのほかに安 全を守るための仕事がある か聞いてみたい。</p>	<p>評価 警察官が私たちの暮らしや安全を守る ため、防止の仕事もしていることに気 づけたか。</p>
----------------------	---	---

6 研究のまとめ

NIE研究テーマに寄せて

今年度の研究テーマ「自ら社会的視野を広めていく新聞活用のあり方を求めて」であったが、NIE指定校として4ヶ月間新聞を購読することになり、新聞と教育のつながり、活用などについて考える機会が得られたことは、来年度への継続研究に向けて大きな足がかりを得ることができた。

実践学年では児童の新聞への意識・問題点をアンケート調査を行うことで実態を正確に把握する事ができた。

(1) アンケート調査から見てきたこと

その中で児童の障害となっている点は以下の3つであることがはっきりした。

1 「難しい漢字があって読めない」 2 「内容が子ども向けではない」 3 「興味のある記事がない」

(2) 実践からの成果

1, 2については、新聞が大人を中心とした多数の読者を対象としている読み物である以上、仕方ないことかもしれないが、この部分をうまく利用したり、改善できれば子ども達はより身近に新聞を感じ、社会的視野をより主体的に広げていくことができそうである。

3については、今年度研究を進めていく中ではっきりしてきたことがいくつかあった。

成果1 新聞に接する機会を多くすることで新聞を読もうとする姿が増える

4年生での実践では新聞を読んだことがない児童が多かったため、新聞スクラップ作りを定期的に行い新聞を身近に感じ接する機会を増やした。このように新聞に接する機会を増やすことで、子ども達は既知の情報を基に写真を手がかりにして新聞記事を選ぶ→見出しを読む→リード文程度を読む→内容を読む→自分なりの思考を持つなど、新聞との関わり方も変化・発展していった。また、新聞と接する機会を多くすることで、読めない漢字や難しい表現があっても理解しようとする姿勢も育つのではないだろうか。

成果2 新聞スクラップ作りを通して、自らが進んで社会に関われる

最初はテーマを決めず、気に入った記事のスクラップを行っていた子ども達であるが、何度かスクラップを行っていくと、子ども達自身が新聞記事を集める際に自分自身の関心にそったテーマを持つようになり、少しずつではあるが、社会的な視野も広まって行く様子がうかがえた。もちろん、最初からテーマを決めて

取り組めば、さらなる深まりも生まれてくると予想される。(実践学年では新聞に親しむことに重点をおいたので最初からテーマを決めることはしなかった。)

成果3 教科の中でも興味を引き出すことが可能

4年生の社会科では、子ども達が授業に必要な記事をスクラップして集めてきた。普段は興味を持つことが少ないテーマであっても「授業で使う」「調べてみたい」という必要感から社会的事象に目を向けることができた。学級活動では新聞スクラップを友達に発表する活動により、集めた記事の中からとっておきの記事を発表しようとする意識が見られ、新聞記事集めへの興味関心の高まりを感じる事ができた。

7 来年度への課題

今年度は自ら社会的視野を広めて行く新聞活用のあり方について探ってきた。手探り状態の中で、どのようにしたら子ども達が興味関心をもって新聞に接することができるかという部分に重点が傾いてしまったように感じる。

しかしながら、実践を通して社会的な視野を広める方策がいくつか分かった。来年度の研究で本年度の成果を基に社会的な視野の広まりについて本校として目指す子どもの姿を定義し、一層の手だてを考え、実践していければよいのではないかと考える。

また、低中高学年それぞれの実態に応じた実践研究も行うことができれば、発達段階に応じた効果的な活用ができると思われる。

日常的な取り組みへの課題

- ・ 配達される新聞をどのような形で児童に与えることが効果的であるか。
(新聞コーナー、読書タイムでの利用、家庭へ持ち帰らせるなど)

新聞活用カリキュラムの課題

- ・ すべての教科での新聞活用のカリキュラム作りは難しいが、教科を限定し、どの単元で、どのような力をつけるために、新聞をどのように使うのか計画を作ることが必要。